



ましかど探訪

-Event of omaezaki-



モザンビークの人々を支援

図書館アスパルで10月8日から10日間、本市出身の栗山さやかさんの活動を紹介する展示会が開かれました。栗山さんはこれまで、貧困や病気で苦しむアフリカ・モザンビークの人々をサポートしてきました。現在はコロナ禍のため、インターネットを通じて支援をしています。長尾正美さん(大山)は「栗山さんの生き方に感動した。幸せになってほしい」と語りました。

◀栗山さんの活動の記録などが展示された館内



明治安田生命 10万円余寄付

明治安田生命保険相互会社が「私の地元応援募金」10万4,500円を市に寄付してくれたことから10月12日、受領式が実施されました。同社は社会貢献事業の一環として、従業員が居住地や出身地などに寄付する浄財に会社からの拠出金を上乗せし寄付しています。浜松支社の片倉浩彰支社長は「今後も市民の皆さんが元気になれるような取り組みをしたい」と話しました。

◀柳澤市長に目録を手渡す片倉浩彰浜松支社長



倒壊家屋から負傷者を救出

御前崎市消防本部の訓練場で10月20日、市・静岡県・西部地域局が合同で倒壊家屋救出訓練を実施しました。訓練では、地震による家屋の倒壊を想定し、取り残された要救助者を救出する手順を確認しました。

山崎健消防次長は「これからも市の安全安心を守るため、日々の訓練や関係機関との連携に努めていきたい」と話しました。

◀チェーンソーを使って慎重に屋根を切断する消防署職員



小中高生が全国大会で活躍

ウインドサーフィンの全国大会で上位に入賞した本市出身の4人が10月26日、柳澤市長と河原崎教育長に結果を報告しました。訪問したのは増田紗蘭さん(新谷区)、小野心暖さん(下朝比奈)、寺本粋琉さん(大山)、野口生喜さん(中原区)。

選手は「新たな課題を見つけることができた。練習して克服したい」などと抱負を語りました。

◀ウインドサーフィンの全国大会で上位入賞した選手